

東海ブロックいっせい宣伝

反動ブロックに対決する新しい国民的・民主的共同を作ろう もとむら議員ら

9月22日、東海4県の日本共産党はブロックいっせい宣伝に取り組みました。前週に実施した静岡以外で93力所、138支部332人、議員・候補者44人が参加、自公過半数割れのもと、反動ブロックに対決する新しい国民的・民主的共同をつくろうと訴えました。

名古屋市の金山駅ではもとむら伸子衆院議員、須山初美県副委員長らが訴えました。21日が投票票となった、岐阜県議補選・岐阜市区候補者の波多野純子氏や、三重の吉田紋華県議ら地方議員も支部の人たちと宣伝しました。



左からもとむら、須山両氏



津駅前 吉田、滝、大嶽各氏



志摩市

【愛知】

もとむら氏は、自民党総裁選の各候補が裏金問題に反省がなく、暮らしを後回しにしてきたと批判。「安保法制から10年、戦争をなくし紛争を対話で解決する社会を目指す」と訴えました。名古屋市内のある宣伝では「いつも頑張っているから」と5万円の募金が寄せられました。日進市の坂林卓美市議の演説中、市民から「共産党がいないと政治がまともでなくなる。がんばれ」と声がかかりました。

中村区の岩塚駅前では「共産党ですか、ビラください」と若い男性がビラを受け取り、「ありがとう」。昭和区の鶴舞駅などで高校生が「しんぶん赤旗」見本紙やビラをよく受け取ってくれました。

【岐阜】

岐阜市・名鉄岐阜駅前では21日投票の岐阜県議補選・岐阜市区で候補者として奮闘した波多野純子氏らが「県政の問題点を明らかにする事と、県政が身近に感じられるように、県民の願いが実現できるように」と、私なりに訴えました」と語りました。

西濃地区では三尾圭司地区副委員長が、中田俊哉大垣市議、松岡唯史海津市議らと地区内の市町で宣伝しました。

三尾氏は「7月の参院選で消費税減税を訴えて当選した議員が大半だからすぐに実行して物価高騰対策をしなければならぬのに、2ヶ月以上も自民党の総裁選にばかり政治空白を作り出している事は国民を愚ろうするものだ」と訴えました。

恵那市や多治見市、土岐市、飛騨市などでも宣伝しました。



右から三尾、松岡両氏



岐阜市、右2人目が波多野氏